

# 門真市公共下水道事業経営戦略 計画期間前半（令和2（2020）～令和5（2023）年度）における進捗状況評価シート

事業名	公共下水道整備事業
-----	-----------

## ◎事業の概要

門真市寝屋川北部流域関連公共下水道事業計画に基づき、快適な住まい環境の充実を目指し、公共下水道を計画的に整備し、浸水対策や水洗化の促進を図る。

## 《現状と課題》

《現状》  
 公共下水道の処理人口普及率については、97.9%と概成に至っているが、約2,500人ほどの市民については、未だ都市計画施設である公共下水道の恩恵が受けられていない状況にあるとともに、雨水処理については、面積割合で85.0%であることから、引き続き公共下水道の整備に取り組む必要がある。  
 なお、R8年度末の普及率100%は、達成困難な状況である。

《課題》  
 未整備地域には、以下のような箇所があり、課題となっている。  
 ・私有地（私道）における承諾が得られない箇所  
 ・道路管理者による工事計画に先行して整備が困難な箇所  
 ・他企業の地下埋設物が輻輳している道路下への埋設箇所

## 《令和2年度から令和5年度までの進捗状況》

公共下水道の処理人口普及率については、他企業管の移設が伴う場合や狭小なスペースに布設する必要があるなど、整備困難箇所が多かったものの、概ね当初想定していた進捗であった。

## 《目標の達成状況》

目標名（単位）	目標値					実績値			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
下水道処理人口普及率（%）	95.5	96.8	97.9	98.1	98.3	95.8	96.9	97.5	97.9

## ◎計画期間前半を振り返っての進捗状況の評価（プルダウンリストで選択）

**B**

### 《凡例》

- A 計画以上に進捗している。 B 概ね計画通りに進捗している。 C 計画よりも遅れている。

## ◎計画期間前半の進捗を踏まえた上での計画期間全般の具体的な実施方針

現在残っている未整備地域の多くは、机上の設計だけでは施工が困難であると思われる箇所が多々残っていることから、発注方法を含めた検討を行うこと等により、事業のスムーズな進捗を図る。  
 また、私有地に布設する管きょについて、土地所有者へ働きかけを行っているものの、承諾に至っていない箇所があるが、引き続き、土地所有者との関係を絶やさぬよう継続した交渉に取り組む。

## ◎計画期間前半の進捗を踏まえた計画期間後半の目標設定

目標名（単位）	目標値					目標名、目標値を変更する場合その理由、根拠
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
下水道処理人口普及率（%）	98.6	98.9	99.2	99.5	99.8	

# 門真市公共下水道事業経営戦略 計画期間前半（令和2（2020）～令和5（2023）年度）における進捗状況評価シート

事業名	下水道総合地震対策事業
-----	-------------

## ◎事業の概要

大規模な地震時でも下水道が最低限有すべき機能を確保するため、門真市下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設のうち重要性が高い管きょやマンホールについて、耐震化を進めるとともに、被害の最小化を図るための減災対策も組み合わせて、総合的な地震対策を行う。

## 《現状と課題》

《現状》  
平成30年度に計画期間を令和5年度までとする門真市下水道総合地震対策計画を策定し、当該計画に基づき耐震診断及び対策工事を実施している。  
なお、令和6年3月に令和6年度からの5年間を計画期間とする門真市第2期下水道総合地震対策計画を策定し、引き続き、下水道施設の耐震化に取り組んでいる。

《課題》  
耐震診断の結果、当初想定していた以上の区間が耐震性を有しないと判断され、事業量が増加したことに加え、1区間の耐震化を図るために、複数の工事を施す必要があること、既存の下水が流れている状態で耐震化工事を行うため、施工に時間を要することなどが課題となっている。

## 《令和2年度から令和5年度までの進捗状況》

耐震化事業については、耐震診断業務委託  
特殊マンホールの耐震化設計委託 2件  
管きょとマンホールの継手部の耐震化 336箇所  
特殊マンホールの耐震化 6基  
を行い、耐震化率が37.7%から39.84%へ上昇した。

その他、5箇所の避難所にマンホールトイレの設置を行った。

## 《目標の達成状況》

目標名（単位）	目標値					実績値			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
重要な幹線等の耐震化率（%）	37.70	41.00	40.60	39.50	39.84	38.60	37.40	38.90	39.15

## ◎計画期間前半を振り返っての進捗状況の評価（プルダウンリストで選択）

**B**

### 《凡例》

A 計画以上に進捗している。 B 概ね計画通りに進捗している。 C 計画よりも遅れている。

## ◎計画期間前半の進捗を踏まえた上での計画期間全般の具体的な実施方針

下水道管きょの耐震化工事については、先行事例が少なく想定以上に時間を要することや、耐震診断により判明した事業量を踏まえ、門真市第2期下水道総合地震対策計画では、優先順位を整理等を行ったことから、引き続き、計画に基づき下水道施設の耐震化に取り組む。

## ◎計画期間前半の進捗を踏まえた計画期間後半の目標設定

目標名（単位）	目標値					目標名、目標値を変更する場合 その理由、根拠
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
重要な幹線等の耐震化率（%）	40.4	40.9	41.3	41.8	42.3	

# 門真市公共下水道事業経営戦略 計画期間前半（令和2（2020）～令和5（2023）年度）における進捗状況評価シート

事業名	公共下水道改築事業
-----	-----------

## ◎事業の概要

下水道施設の老朽化による維持管理・更新費用の増大が見込まれる中、財源等の制約のもと適切に管理していくために、平成30年度に策定した門真市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で下水道施設全体における今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査を実施する。

## 《現状と課題》

《現状》  
門真市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の巡視や、マンホール及び管きよについてTVカメラによる点検・調査を行った。

《課題》  
本市の下水道施設の多くは、高度経済成長期に整備したため、今後、老朽化した管きよが急速に増えることで、維持管理・更新費用の増大が見込まれる。

## 《令和2年度から令和5年度までの進捗状況》

門真市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査を実施し、点検については、2,400箇所、調査については15,146m行い、改築、修繕が必要な箇所の判定を行った。（箇所数については、右下表のとおり）

## 《目標の達成状況》

目標名（単位）	目標値					実績値			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本管・マンホール点検箇所数	585	515	417	750	710	588	543	556	713

## ◎計画期間前半を振り返っての進捗状況の評価（プルダウンリストで選択）

**B** 《凡例》  
A 計画以上に進捗している。 B 概ね計画通りに進捗している。 C 計画よりも遅れている。

## ◎計画期間前半の進捗を踏まえた上での計画期間全般の具体的な実施方針

引き続き、ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査を行うとともに、これまでの点検・調査の結果に基づいた、管きよ・マンホール蓋・マンホール本体の改築・修繕を実施する。

## ◎計画期間前半の進捗を踏まえた計画期間後半の目標設定

目標名（単位）	目標値					目標名、目標値を変更する場合 その理由、根拠
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
本管・マンホール点検箇所数	593	666	650	661	-	ストックマネジメント計画（点検・調査計画）掲載値
本管調査工	5,617	4,961	5,209	4,629	-	ストックマネジメント計画（点検・調査計画）掲載値
管きよの改築・修繕箇所数（スパン）	-	21	-	-	-	ストックマネジメント計画（点検・調査計画）掲載値
マンホール本体の改築・修繕箇所数（基）	-	12	-	-	-	ストックマネジメント計画（点検・調査計画）掲載値
マンホール蓋の改築・修繕箇所数（基）	-	51	-	-	-	ストックマネジメント計画（点検・調査計画）掲載値